

本審査基準は重要な形質を定める最新の告示を反映しておりません。

出願等にあたっては、最新の重要な形質をご確認ください。(以下 HP の植物区分ごとの特性表参照。

→https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hinshu/info/sinsa_kijun_jp.html)

なお、それぞれの重要な形質に対する定義等は変更されております。

1. 対象植物の範囲

本審査基準案は、クマツヅラ科 (Verbenaceae) ドウランタ属 (*Duranta* L.) を対象とするが、レペンス種 (*D.repens* L.) 以外の種の出願があった場合は、本基準案の適用の可否について検討する必要がある。

2. 特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

作 型	施設鉢栽培
挿 し 木	種子もできるが、通常、増殖は挿し木で行うことから、挿し木とする。 9月に3節(葉は6枚着生)で切り、挿し木時は下1節の葉を除いて、挿し木をする。 用土は鹿沼土及び赤玉土等を使用し、20℃前後で管理する。
定 植	40～50日程度で発根するので、4号ポリポットへ定植する。 用土は水はけの良い市販用土を使用する。
施 肥	元肥：定植用土1リットル当たり2g程度の緩効性肥料(ロング 200日程度)を混合する。 追肥：2ヶ月毎に緩効性肥料(ⅠB等)を置き肥する。
摘 芯	1回目：定植後、わき芽が2節以上伸長した時点で、2節残して摘芯する。 2回目：1回目摘芯後のわき芽が2節以上伸長した時点で、2節残して摘芯する。
整 枝	2回摘芯以降は放任とする。
温度管理	定植後は、霜に遭わない程度の温度管理(2～3℃)とする。
か ん 水	土の表面が乾いたら、たっぷり行う。

(2) 供試個体数

10株

(3) 調査時期

開花枝の概ね5割が開花した時期。

3. 特性審査基準(案)

(1) 特性審査基準(案)

注1 定義に時期が記載されていない調査項目は開花期に調査する

注2 葉の調査項目は、開花枝中央部の葉を調査対象とする。(No.7~16)

注3 小花の調査は、頂生花序の中央付近のものを対象とする。(No.19~25、27、28)

重要な 形質	番号	形質	定義	調査 方法	状態又 は区分	階 級	標準品種	備考
樹姿	1	樹姿	自然状態の樹姿	観察 図1	直立 開張 水平	1 2 3		
	2	樹高	自然状態の地際から 最高部までの高さ	測定 (cm)	低 中 高	3 5 7		
樹高	3	樹幅	自然状態の株の最大 幅	測定 (cm)	狭 中 広	3 5 7		
	4	枝の色	開花枝中央部の色	観察	黄緑 緑 緑褐	1 2 3	タカラヅカ アルバ	
枝の 形状	5	枝の長さ	最長開花枝の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	アルバ	
	6	節間長	開花枝中央部の節間 長	測定 (mm)	短 中 長	3 5 7	アルバ	
葉の 形状	7	葉形	最大葉の形	観察 図2	披針形 倒披針形 長楕円形 楕円形 卵形 倒卵形	1 2 3 4 5 6	アルバ、タカラヅカ	
	8	葉の先端部の形	葉の先端部の形	観察 図3	鋭尖形 鋭形 鈍形	1 2 3	アルバ、タカラヅカ	
	9	葉縁の形	葉縁の形	観察 図4	全縁 鋸歯 鋭鋸歯 牙齒	1 2 3 4	アルバ タカラヅカ	
	10	葉縁の波打ち程 度	葉縁の波打ち程度	観察 図5	弱 中 強	3 5 7	アルバ、タカラヅカ	
	11	葉長	最大葉の長さ (葉柄を含む)	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	アルバ、タカラヅカ	
	12	葉幅	最大葉の幅 (葉長を測定した葉)	測定 (cm)	狭 中 広	3 5 7	アルバ、タカラヅカ	
	13	葉の表面の色	葉の表面の色	観察	黄緑 緑 濃緑	1 2 3	アルバ	
	14	葉の斑の有無	葉の斑の有無	観察	無 有	1 9	アルバ	
	15	葉の斑の模様	葉の斑の模様	観察 図6	外斑 中斑 掃け込み斑 散り斑	1 2 3 4		

重要な 形 質	番号	形 質	定 義	調査 方法	状態又 は区分	階 級	標準品種	備考
葉の 形状	16	葉の斑の色	葉の斑の色 (参考としてJHSカ ラーチャートの色票 番号を記載する)	観察	白 黄白 黄 黄緑	1 2 3 4		
	17	花序の長さ	頂生花序内の第1小 花が開花した時点の 頂生花序の長さ	測定 (cm) 図7	短 中 長	3 5 7	タカラヅカ アルバ	
花の 形状	18	花序の抽出方向	頂生花序内の半数の 小花が開花した時点 の頂生花序の抽出方 向	観察	上向き 斜上 横向き 下向き	1 2 3 4	アルバ、タカラヅカ	
	19	花径	小花の直径	測定 (cm)	小 中 大	3 5 7	アルバ、タカラヅカ	
	20	複色の有無	小花の複色の有無	観察	無 有	1 9	アルバ タカラヅカ	
	21	花の色模様	小花の色模様 (花筒内面は除く)	観察 図8	覆輪 条 しぼり ぼかし	1 2 3 4	タカラヅカ タカラヅカ	
	22	花冠裂片の地色	花冠裂片の地色	RHSカラーチャートの 色票番号による				
	23	花冠裂片の複色	花冠裂片の複色	RHSカラーチャートの 色票番号による				
	24	花冠の波打ちの 程度	花冠の波打ちの程度	観察	弱 中 強	3 5 7	アルバ タカラヅカ	
	25	花冠裂片先端の 切れ込み程度	花冠裂片先端の切れ 込み程度	観察	弱 中 強	3 5 7	在来種(油井系) タカラヅカ	
	26	一花序の小花数	頂生花序内の半数の 小花が開花した時期 の小花数 (確認できるつぼみま で含む)	測定 (花)	少 中 多	3 5 7	アルバ タカラヅカ	
	27	がく筒の長さ	がく筒基部から花冠 裂片基部までの長さ	観察	短 中 長	3 5 7	アルバ 在来種(油井系) タカラヅカ	
果実の 形状	28	花の香りの有無	花の香りの有無	官能	無 有	1 9	タカラヅカ	
	29	果実の形	果実縦断面の形(果 柄基部を下にする)	観察 図9	橢円形 卵形 倒卵形	1 2 3	アルバ、タカラヅカ	
	30	果実の色	果実の色	RHSカラーチャートの 色票番号による				
早晩性	31	開花始期	開花始期	観察	早 中 晩	3 5 7		

(2)特性審査基準(案)参考図

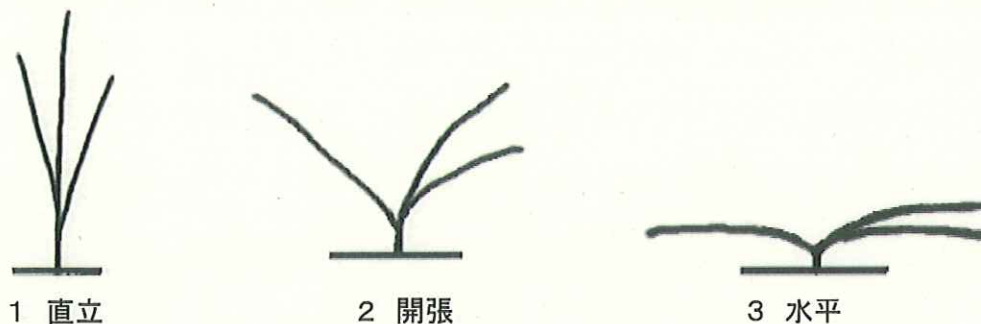


図1 樹姿(形質1)

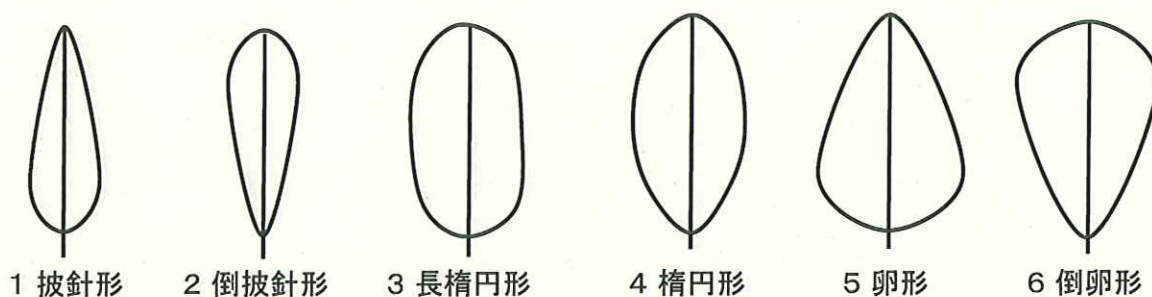


図2 葉形(形質7)



図3 葉の先端部の形(形質8)

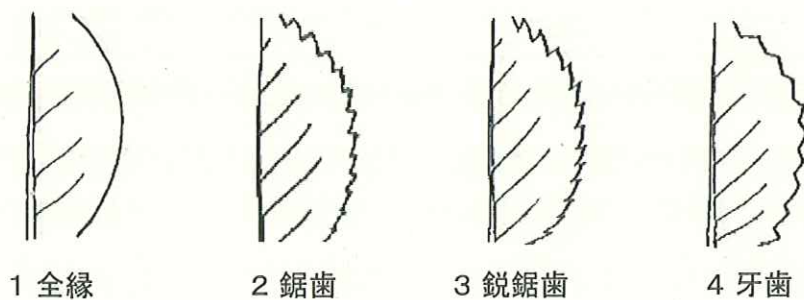


図4 葉縁の形(形質9)

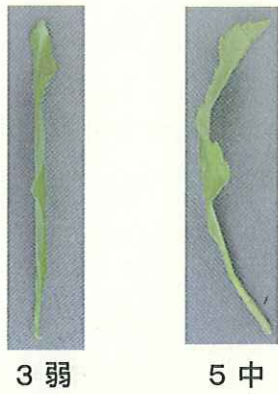


図5 葉縁の波打ち程度(形質10)

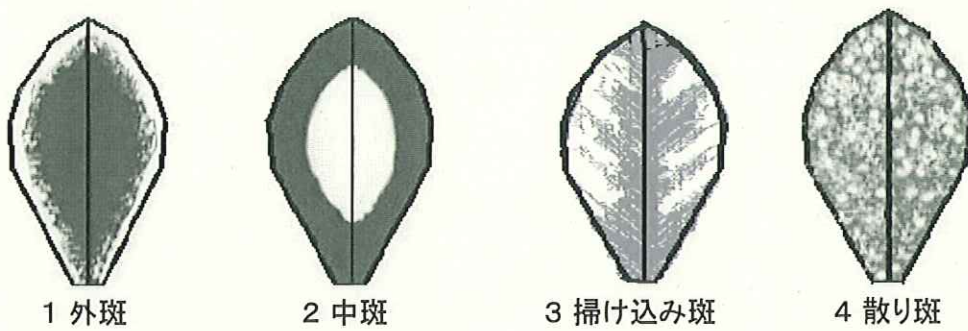


図6 葉の斑の模様(形質15)

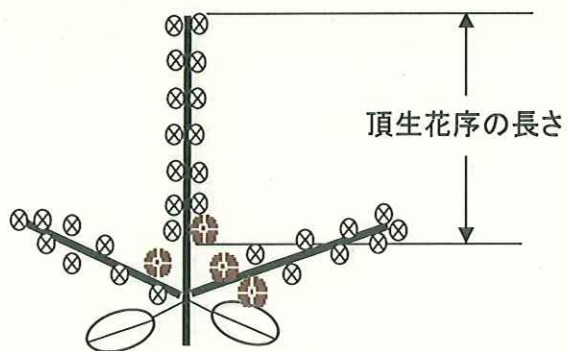
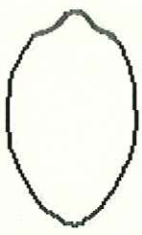


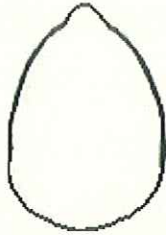
図7 花序の長さ(形質17)



図8 花の色模様(形質21)



1 楕円形



2 卵形



3 倒卵形

図9 果実の形(形質29)